

## 講演要旨集のオンライン公開に向けた著作権譲渡に関するお願い

2015年4月2日

プラズマ分光分析研究会会長 平田岳史

プラズマ分光分析研究会は、誘導結合プラズマ(ICP)、マイクロ波誘導プラズマ(MIP)、グロー放電(GD)、レーザー誘起プラズマ(LIP)、カーボンファーンエスやフレーム等の励起源、イオン源を用いたプラズマ分光分析法の発展と普及を行う研究団体です。現時点で個人会員309名、維持会員7社、賛助会員25社の協力のもと、研究会が運営されています。分析装置やデータ解析技術の急速な進歩にともない、試料から得られる化学情報の質と量は飛躍的に向上し、今ではプラズマ分光分析技術は様々な研究分野でなくてはならないものとなっています。しかし分析装置の急速な進歩は、その一方で装置原理の高度化、分析知識の専門化を加速し、今後さらに多様化する分析要請に対応するためには、分析装置の動作原理・基礎の習得と研究交流の拡大がますます重要になってきました。こうした背景からプラズマ分光分析研究会では、年3回の講演会を開催し、最新の研究開発動向の紹介と視野の拡大を図り、さらに年1回の筑波セミナーでは、2日間にわたって、各先端分野で活躍の研究者による講演会とショートコース形式で分析装置の原理、試料前処理法、データ処理法、公定法への対応法等を紹介するとともに、筑波地区の研究機関の見学会を開催し、分光分析技術の基礎知識の涵養と研究交流の拡大を図ってきました。プラズマ分光分析研究会では、これまでに90回以上の講演会や、20回以上の筑波セミナーを開催しており、その内容のほとんどは講演要旨としてまとめられています。古い要旨集の情報は、現在の装置性能と比較できない場合もありますが、いずれの講演も分析技術の基礎を習得する上では全く色あせておらず、むしろ装置技術が発展途上だった頃に先人達がどのような創意工夫で問題を解決してきたか、さらにどのような革新的技術がどういった経緯で生み出されてきたかを知る貴重な資料と言えます。換言すれば、講演要旨は本研究会会員のみならず、分光分析に携わる多くの研究者・学生達にとって有益な財産といえます。プラズマ分光分析研究会では、これらの講演要旨の電子アーカイブ化(ネットワークを通じた一般公開)を検討してきました。電子アーカイブ化することで、これまでに発行された全ての講演要旨を閲覧することが可能となります。しかし電子アーカイブ化に際しては、著作権法により、掲載された記事の著者から、研究会が、記事に関する著作権(複製権、公衆送信権を含む)の許諾又は譲渡を受ける必要があります。本来であれば、著者の皆様お一人ずつに連絡を取り、著作権譲渡の手続きをおこなうべきですが、それには膨大な事務手続きが必要となり、現行の研究会運営体制では長大な時間が必要となってしまいます。そこで、講演会要旨集紙面、会員連絡メール、およびホームページにて、以下のとおりお願いを申し上げます。

すべての講演要旨執筆者の方々には、過去原稿について、著作権を本研究会に委譲していただくことをお願いいたします。もし、この件に関して、ご了承いただけない場合、あるいはやむをえず

譲渡ができない事情等がございます場合は、2015年12月末日までに下記の研究会事務局までご連絡下さい。限られた期間しかございませんが、期限までにお申し出がない場合は、講演要旨原稿の著作権は、プラズマ分光分析研究会に所属するものとさせていただきます。存じます。

講演要旨の公開に関しては、著作権譲渡していただいたもののうち、最近3年間のものはプラズマ分光分析研究会の会員のみが閲覧できるものとし、それ以前のは原則的に全面公開(プラズマ分光分析研究会の会員・非会員に関わらず閲覧可能)することを想定しております。現段階では具体的な電子アーカイブ化の時期や手法等については確定しておりませんが、進捗がありましたら、順次皆様にお知らせいたします。本件について何か不明な点、あるいは講演要旨集の電子アーカイブ化についてご意見・ご要望等ございましたら、合わせてお知らせいただければと存じます。

今後とも当研究会の活動にご協力、ご鞭撻いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ先:

226-8502 横浜市緑区長津田町4259-J2-32

東京工業大学大学院総合理工学研究科 沖野研究室内

プラズマ分光分析研究会事務局

Tel, Fax:045-924-5688 E-mail:office@ plasma-dg.jp